

# PROFILE



**パラノビチ・ノルバート** PALANOVICS Norbert  
1978年、南ハンガリーのペーチ市生まれ。

故郷の大学で経済学を専攻した後、2002年に初めて来日し、関西外国語大学でアジア学を学んだ。その後、ハンガリーの大学院でビジネス学を学び修士号を取得。メキシコの権威ある私大、ラス・アメリカス大学・プエブラに教師として招聘された。

2004年に再来日し博士号を取得するため名古屋大学に留学した。在学中、ハンガリーの新聞とビジネス誌の日本特派員としても活躍。首相や経済界の要人をインタビューし、様々なジャンルの重要な出来事を中心に、本国ハンガリーに情報を提供していた。博士課程における卒業論文のテーマは、日本の平和構築を考えた上のODA外交であったが、2008年に名古屋大学に受理され、博士課程を修了した。このテーマに沿って、その後も様々な記事を書いたが、特に重要なのがラウトレッジ出版社から発行された『日本の政治と経済変革の可能性』という本で書いたODAによる平和外交の一章だ。その後、彼は名古屋大学から客員教授として招かれた。

ジャーナリストとして活動する一方、彼はハンガリー最大の食肉加工メーカー、ビック・セグド社の東京事務所を立ち上げ、自らが代表として活躍。食べられる国宝・マンガリツァ豚をアジア市場に紹介し、ビック・セグド社は日本をはじめ東アジアに販路を拡大した。このことは、母国ハンガリーに少なからず利益をもたらしたと同時に、日本におけるハンガリーの知名度向上にも寄与することとなった。

この功績もあって、民間からの起用により彼は2016年に駐日ハンガリー大使に任命された。語学も堪能で、ハンガリー語以外に日本語、英語、スペイン語とドイツ語を話す。趣味は食文化の探求、映画、スポーツ、旅行、異文化交流。



**ヴィハル・ユディット** Dr. VIHAR Judit  
翻訳家、文学史家、俳人、大学教授（日本語、日本文学）

エトヴェシュ・ローランド大学(1975-)、カーロリ・ゲーシュバル大学(1996-)で教鞭をとる。日本研究基金会長、ハンガリー・日本友好協会会長(2001-)、ハンガリー翻訳協会運営委員、羽仁基金理事。

世界俳句協会ハンガリー代表(2006-)、国際芥川龍之介学会会員(2005-)、2001年、『世界俳句評論』のエッセーコンテストで一等。  
2002年、秋田で開催された世界俳句フェスティバルにおいて、英語の俳句で一等受賞。この時の様子はNHKの番組で紹介される。  
2009年、日本国政府より旭日中綬章を授与される。  
2010年、ペーチで世界俳句フェスティバルを主催。  
2015年、日本語・ハンガリー語大辞典を編集出版し、日本の外務省から表彰される。

主な業績  
『日本文学史』(1994)  
『俳句のこころ』(1996)  
『松尾芭蕉の俳句』(1996)  
『桃太郎、日本昔話』(2001)  
『八岐大蛇、日本昔話』(2003年)  
『羅生門とネメチェク』、『ハンガリー、ヨーロッパの宝石』(2009)  
『ハンガリー語俳句句』(2010)  
『ハンガリー俳句略史』、『世界俳句』No.9, 2013.)  
『源氏物語と世界文学』(2015)  
『日本の源氏とハンガリーの孫君』(2015)

主な翻訳  
大江健三郎『万延元年のフットボール』  
松尾芭蕉『奥の細道』  
近松門左衛門『心中天網島』  
夏目漱石『坊っちゃん』『自転車日記』  
芥川龍之介『蜜柑』『地獄変』『藪の中』『馬の脚』など  
川端康成『伊豆の踊子』『眠れる美女』



**赤松 林太郎** AKAMATSU Rintaro

全日本学生音楽コンクール第1位、クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位をはじめ、国際コンクールでの受賞多数。神戸大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、台湾、コロンビアなどを公演で回る。キング・インターナショナルから『ふたりのドメニコ』(レコード芸術準特選盤)、『ピアノの天使』、『そして鐘は鳴る』(準特選盤)をリリース。新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版(道と書院)。1,000名以上の指導に携わり、多くの受賞者を輩出している(PITNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝他)。現在、全日本ピアノ指導者協会評議員・演奏研究委員。ブダペスト国際ピアノマスタークラス(ハンガリー国立リスト音楽大学共催)講師、ドナウ国際音楽コンクール審査員長、洗足学園音楽大学客員教授。 <http://rintaro.jp/>

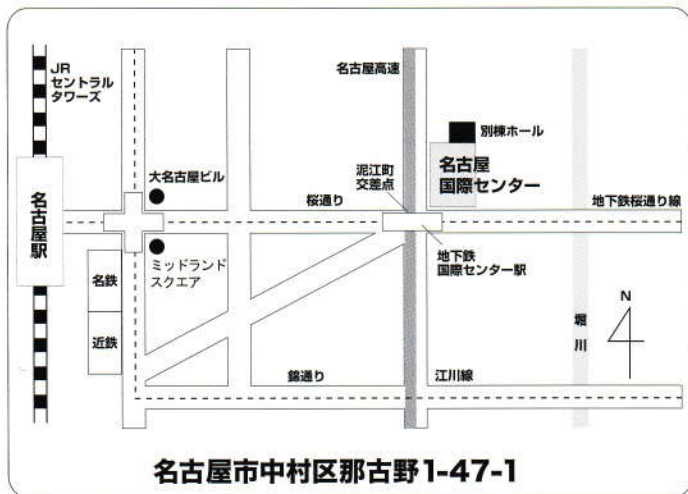


**谷崎 聖子** TANIZAKI Seiko

1978年宮崎県生まれ。伝統手芸研究家、ハンガリー文化コーディネーター。大阪外語大学ハンガリー語学科卒業後、ハンガリー政府奨学生としてブダペスト大学、フォークロア学科に留学。ルーマニア・トランシルヴァニア地方で結婚、出産。

夫とともにトランシルヴァニア各地を巡り、各地の伝統的な手仕事の今を取材、ブログや雑誌などで紹介し、日本でトランシルヴァニアの手仕事、農村の文化などを紹介する展示やワークショップも行っている。また自身も伝統刺繍を学び、製作している。著書に、文化出版局『トランシルヴァニアの伝統刺繍イーラーシヨシュ』、誠文堂新光社『カロタセグのきらめく伝統刺繍』がある。  
<http://morino-kanata.com/>

## 【名古屋国際センター交通案内】



### 公共交通機関

#### ●名古屋駅から東へ徒歩7分

JR「名古屋」、名鉄「名古屋」、近鉄「名古屋」、地下鉄「名古屋」駅から徒歩7分です。地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

#### ●地下桜通線「国際センター」駅下車すぐ

#### ●市バス「国際センター」下車すぐ

### 高速道路

#### ●名古屋高速「丸の内」出口から

出口から直進し、「日銀前」交差点を右折して桜通を名古屋駅方面に向かい、「泥江町(ひじえちょう)」交差点手前で右折してください。高速出口からの所要時間は約5分です。

### 別棟ホールへの行き方

ホールへの出入り口は地上のみですので、地下からお越しの方はビル1階の北側出口からホールへお入りください。

問合せ先 事務局 長 志村 Tel/Fax : 0568-76-4347  
090-1090-3437

E-mail : [ambt@hotmail.co.jp](mailto:ambt@hotmail.co.jp)  
協会のHPアドレス : <http://aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/>

## ハンガリーフェスティバル

## 申込書

氏名	
住所 〒 □□□□□□□□	
電話番号	メールアドレス
友好協会会員ですか? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	備考

FAXでのお申し込みは、**0568-76-4347**